

2016 年度 職業安定分科会における年度目標の評価について（案）（抄）

2016 年度の目標として職業安定分科会において設定した年度目標について、当該分科会が実施した評価の結果は、概ね以下のとおりである。

3. 若者の就労促進

⑭ ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の数について

2016年度の実績は約30.8万人であり、目標の30.0万人を上回った。「わかものハローワーク」等の支援拠点を中心としたきめ細かな個別支援や、就職支援ナビゲーター（訓練担当）の配置による訓練機能の強化等により目標を達成した。

⑮ 学卒ジョブサポーターによる支援（正社員就職者数）について

2016年度の実績は約19.2万人（大卒等約13.3万人、高卒等約5.9万人）であり、目標の19.5万人（大卒等13.6万人、高卒等6.0万人以上）を下回った。これは、景気の回復に伴う企業の採用意欲の改善等により、利用者数が想定以上に減少したことによる。

⑯ 新卒応援ハローワーク（正社員就職者数）

2016年度の実績は約9.8万人であり、目標の10.2万人を下回った。これは、景気の回復に伴う企業の採用意欲の改善等により、相談件数が想定以上に減少したことによる。

フリーター等の正社員就職の目標については、わかものハローワーク等の支援拠点を活用し個別支援を徹底するとともに、トライアル雇用等の各種支援策の活用や、ジョブカフェ・地域若者サポートステーション等関係機関との連携を引き続き実施することにより、取り組んでいくべきである。

また、学卒者等についても、これまで以上に地域の実情やニーズを踏まえたものとなるよう各都道府県の目標達成状況や取組状況に応じ、学卒者の就職支援に全力で取り組む必要がある。新卒応援ハローワーク等において、ジョブサポーターによる個別支援を徹底するとともに、学校や関係省庁とも連携を図り、就職支援に取り組んでいくべきである。

2016年度評価

評価シート

3. 若者の就労促進

項目	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 目標	2016年度 中間評価実績 (4~12月)	2016年度 実績
⑭ ハローワークの職業紹介により正社員就職に結びついたフリーター等の数	310,552人	326,447人	300,000人	229,601人 (進捗率 76.5%)	308,351人 (進捗率 102.8%)
⑮ 学卒ジョブサポーターによる支援（正社員就職者数）	198,575人	206,064人	195,000人	146,936人 (進捗率 75.4%)	191,920人 (進捗率 98.4%)
⑯ 新卒応援ハローワーク（正社員就職者数）	104,849人	105,681人	102,000人	75,298人 (進捗率 73.8%)	98,398人 (進捗率 96.5%)

（関連する2020年までの目標）

- 20～34歳の就業率 79%
- 不本意非正規雇用労働者の割合 10%以下

2016年度目標設定における考え方

- ⑭ ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等の数
- ・ 目標設定時の直近の実績を踏まえ、2015年度の実績見込みを推計し、2016年度の支援対象者数の動向、新規事業の効果等を勘案し設定。
- ⑮ 学卒ジョブサポーターによる支援（正社員就職者数）
- ・ 目標設定時の直近の実績を踏まえ、2015年度の実績見込みを推計し、2016年度の支援対象者数の動向等を勘案し設定。
- ⑯ 新卒応援ハローワーク（正社員就職者数）
- ・ 目標設定時の直近の実績を踏まえ、2015年度の実績見込みを推計し、2016年度の支援対象者の動向等を勘案し設定。

施策実施状況

（2016年度に実施した主な取組）

- ⑭ ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等の数
- ・ 全国のハローワークにおいて、フリーター等に対し担当者制による個別支援等を実施。支援拠点として設置された「わかものハローワーク」等を通じて、正社員化に向けた支援を実施。
 - ・ 「わかものハローワーク」に新たに就職支援ナビゲーター（訓練担当）を配置して訓練への誘導・あっせん機能を強化。

⑮ 学卒ジョブサポーターによる支援（正社員就職者数）

- ・全国の新卒応援ハローワーク等において、学卒ジョブサポーターによるきめ細かな職業相談・職業紹介を実施。

⑯ 新卒応援ハローワーク（正社員就職者数）

- ・就職活動中の学生・既卒者が利用しやすい専門のハローワークとして全都道府県に設置された新卒応援ハローワーク等で、大学等との連携を密にし、一人ひとりの特性に応じた個別支援を実施。

2016 年度施策実施状況に係る分析

⑭ ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等の数

- ・「わかものハローワーク」等の支援拠点を中心としたきめ細かな個別支援や、就職支援ナビゲーター（訓練担当）の配置による訓練機能の強化等により目標を達成した。

⑮ 学卒ジョブサポーターによる支援（正社員就職者数）

- ・景気の回復に伴う企業の採用意欲の改善等により、相談件数が想定以上に減少したことにより実績が目標を下回った。

⑯ 新卒応援ハローワーク（正社員就職者数）

- ・景気の回復に伴う企業の採用意欲の改善等により、利用者数が想定以上に減少したことにより実績が目標を下回った。

（参考）

- ・2017年3月卒業の新規高卒者の内定率（2017年3月31日現在、98.0%）は平成3年3月卒以来26年ぶりの高い水準
- ・2017年3月卒業の新規大卒者の就職率（2017年4月1日現在、97.6%）は平成9年3月卒の調査開始以降最も高い水準

施策の達成状況を踏まえた評価及び今後の方針

⑭ ハローワークの職業紹介により正社員就職に結びついたフリーター等の数

- ・「わかものハローワーク」等の支援拠点において、個別支援を徹底するとともに、トライアル雇用等の支援策の活用や、ジョブカフェ、地域若者サポートステーション等関係機関との連携を引き続き実施することにより、フリーター等の正社員就職に取り組む。

⑮ 学卒ジョブサポーターによる支援（正社員就職者数）

⑯ 新卒応援ハローワーク（正社員就職者数）

- ・2017年3月卒業の新規高卒者の内定率（2017年3月31日現在、98.0%）は平成3年3月卒以来26年ぶりの高い水準、2017年3月卒業の新規大卒者の就職率（2017年4月1日現在、97.6%）は平成9年3月卒の調査開始以降最も高い水準となっているものの、引き続き、学卒ジョブサポーターによる個別支援の徹底や、出張相談等大学との連携を強化し、大学等からの来所勧奨等に取り組む。